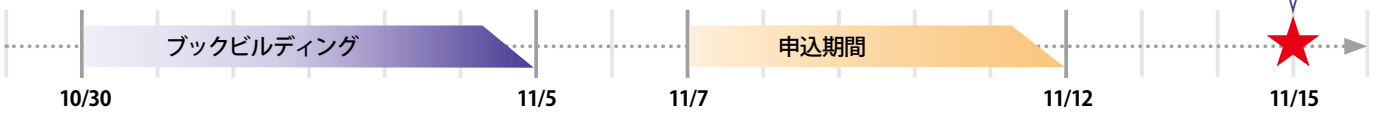


IPO銘柄 キャリアリンク (6070・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6070	100 株	公募: 60.0 万株 売出: 78.0 万株 (OA20.7 万株)	400 円~ 440 円 (6.0 倍)	野村証券

■ 日程



BPO業者向け中心に人材派遣事業を手がける

■ 事業内容

コールセンターなどBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）業者向け人材派遣が主力。年金記録調査台帳関連業務など、官公庁から業務を請け負った業者向けの派遣も手がける。CRM（カスタマーリレーションマネジメント）関連ではテレマーケティング事業者向け人材派遣、人材紹介が主力。それ以外の業種からの請負では、依頼されたテレマーケティング業務を同社内のコレクトセンターで請け負うほか、一般事務請負や製造技術系請負も手がけている。13年2月期第2四半期累計の売上高構成比は、BPO関連業務57.4%、CRM関連業務25.2%、一般事務事業10.9%、製造技術系業務6.5%。

■ 特徴

就業スタッフの募集、試験、面談の調整、勤務シフト調整などにウェブシステムを活用することで、業務処理センターの早期稼働開始への対応を図っているほか、就業スタッフにインセンティブ報酬を支給してモチベーションを向上させ、生産性を改善。工数を減らす努力を行っている。業務面では経験豊富なスーパーバイザーをリーダーに据えたチーム派遣を実施。顧客の研修・業務指導を軽減し、大量の業務処理を行うことを目指している。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年2月期の非連結経常利益は前年比14.8%増の6億5,200万円を計画する。年金記録台帳調査業務への人材派遣が順調で、CRM関連業務でも大型人材派遣案件を新たに獲得するなど、順調な推移となっている。

■ 定性分析

当面は年金記録台帳調査業務の需要に支えられた堅調な業績推移が見込まれている。ただ、人材サービス関連は多くの企業が既に上場しており、ビジネスモデルに新鮮味がない。比較対象の既上場企業には低PER銘柄が多い。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は6億9,828万円。吸収金額の規模に荷持たれ感はないが、人気業種ではないため需給主導の展開となることも読みづらい。筆頭株主はベンチャーキャピタルだが、ロックアップ条項が付されている。

(小泉健太)

■ 類似企業

キャリアリンク(6070・マザーズ)	予想PER6.0倍 (仮条件上限)
スリープログループ(2375・マザーズ)	予想PER2.9倍
クリエアナブキ(4336・JASDAQ)	予想PER13.4倍

■ 引受証券

野村証券、SMBC 日興証券、大和証券、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券、みずほインベスターズ証券、いちよし証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年2月期(実績)	9,204	28.1	77	3.9倍	62	黒転	12.9	—
12年2月期(実績)	15,372	67.0	568	7.4倍	283	4.6倍	59.0	—
13年2月期(会社予想)	16,406	6.7	652	14.8	367	29.7	73.9	—

※ 12年6月に株式分割(1株→100株)を実施。11年2月期および12年2月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年2月期	48,000	3,115	506	210	105.5	16.3	13.1
12年2月期	48,000	3,844	789	210	164.5	20.5	43.7

※ 11年2月期および12年2月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	スマートキャピタル	3,276,000	59.51
2	近藤 裕彦	550,400	10.00
3	キャリアリンク従業員持株会	430,700	7.82
4	前田 直典	203,000	3.69
5	森村 夏実	105,100	1.91
6	成澤 素明	70,500	1.28
7	平松 武洋	60,700	1.10
8	工藤 孝弘	58,600	1.07
9	森川 正志	54,600	0.99
10	箱崎 隆昌	51,000	0.93

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	近藤 裕彦
専務取締役(管理本部長)	平松 武洋
取締役(営業企画部長)	森村 夏実
取締役(管理本部長)	森川 正志
取締役(営業本部長)	成澤 素明
取締役(営業二部長)	出口 誠
取締役	三浦 一郎
常勤監査役	岸本 雅晴
監査役	森 優
監査役	中畠 正喜

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。